感染対策の取り組み

当院は、患者の皆様および従業員に安全な医療環境を提供すべく、感染防止に取り組んでおります。

1. 感染防止対策のための組織・体制

感染防止対策活動の中核的組織として感染制御室を、また、感染対策委員会、感染制御チーム (ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム (AST)、感染対策リンクスタッフ会を設置し、迅速に対応しています。ICT、AST は、週 1 回以上ラウンドし、感染対策や抗菌薬治療についての確認・指導を行っております。

2. 感染防止対策のための活動

感染症や耐性菌などの微生物検査、医療関連感染の情報を感染制御室で集約し、現場にフィードバックしています。職員は適切な方法およびタイミングでの手指衛生に努め、曝露の可能性に応じ個人防護具を使用します。院内感染を疑う場合、ICT は速やかに現状を確認して感染拡大を防止します。さらに必要に応じ感染対策委員会を招集したり、保健所、外部機関に相談し助言を求めます。

3. 抗菌薬適正使用の推進

薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに基づき、抗菌薬適正使用を推進します。感染症治療の早期モニタリングと評価し、微生物検査、臨床検査の適正化、抗菌薬適正使用の教育・啓発を行います。

4. 職員教育

全職員に感染防止対策に関する講演会を年 2 回以上行い、知識の向上を図っています。さらに入職時、職種別、委託業者への研修も実施し、感染対策マニュアルにより全職員へ周知を行っています。

5. 職員の健康管理

定期健康診断に加え、感染症を疑う症状が出た場合には、報告し必要な感染拡大予防策をとる体制があります。また、委託業者や実習生含む職員に、B 型肝炎、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の免疫獲得のためワクチン接種を進めています。結核に接触する可能性の高い職員には定期的検査等を行っております。

6. 地域の医療機関との連携

当院では、「感染対策向上加算 1」を算定し、保健所や地域の医師会や、「感染対策向上加算 2, 3」, 「外来感染対策向上加算」の医療機関とも連携し地域の感染対策に貢献しています

7. 感染防止対策に関する情報の提供および共有

職員に対しては、各委員会での報告、通知や院内メール、ポスター等の掲示を行い、患者様、ご家族様に対しては、「病院感染対策のための指針」「感染防止対策の取り組み」を病院ホームページや院内掲示しています。感染症流行時には、注意喚起ポスターの掲示やお声かけ、資料配布等を行います。

8. 患者様・ご家族の皆様へのご協力をお願い

院内には、感染に弱い方や感染しやすい疾患もあるため、待合室や診察室、病室の変更をお願いしたり、手洗いや手指消毒、マスクの着用等をお願いすることがあります。また、ご面会の制限や、ご面会される方の体調を確認させていただくことがあります。病室には、必要に応じて感染対策を実施するための「感染防止対策表示カード」を掲示させていただきますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

茨城県立中央病院病院長

令和 5 年 3 月 28 日第 3 回改定